



学習したこと、  
解答

6章で  
学習したこと

- 1 次の  にあてはまるものをいいなさい。
- (1) かならず起こることがらの確率は  である。
  - (2) けっして起こらないことがらの確率は  である。
  - (3) ことがら A の起こる確率を  $p$  とすると、  
A の起こらない確率は、  である。

- 2  1つのさいころを投げるとき、1の目が出る確率は  $\frac{1}{6}$  です。この確率の意味を正しく説明しているのは、次の(ア)~(ウ)のうち、どれですか。
- (ア) 6回投げるとき、そのうち1回はかならず1の目が出る。
  - (イ) 6回投げるとき、そのうち1回しか1の目は出ない。
  - (ウ) 3000回投げるとき、500回ぐらい1の目が出る。

- 3  1から20までの数が1つずつ書かれた20枚のカードがあります。このカードを箱に入れて、そこから1枚を取り出すとき、取り出したカードが3の倍数である確率を求めなさい。

- 4 次の確率を求めなさい。
- (1) 1つのさいころを投げるとき、奇数の目が出る確率
  - (2) 3枚の硬貨を同時に投げるとき、3枚とも表となる確率

1 特別な場合の確率について理解していますか。  
→ p.167~p.168  
→ p.172

2 確率の意味を理解していますか。  
→ p.168

3 4 確率を求めることができますか。  
→ p.169~p.173



この章の学習を終えて、わかったこと、できるようになったこと、さらに学んでみたいことなどをまとめましょう。

**例** 1年生では実験をして確率を求めたけれど、どの場合が起こることも同様に確からしいときには、実験をしなくても確率を求められることがわかりました。場合の数をもとにして確率を求め、身のまわりのいろいろなことがらの起こりやすさを調べてみたいです。

5

10

15

20

25



1  5本のうち、あたりが2本はいつているくじがあります。  
このくじを、同時に2本ひくとき、少なくとも1本が  
あたりである確率を求めなさい。

5 2  2つのさいころを同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

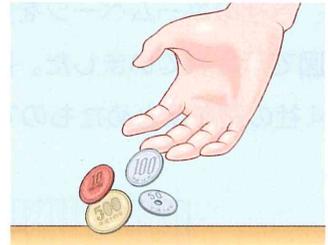
- (1) 1の目がまったく出ない確率
- (2) 出る目の数の和が13になる確率
- (3) 出る目の数の差が3になる確率
- (4) 少なくとも一方は3以上の目が出る確率

10 3  右のような4枚のカードがはいつている  
箱から、カードを続けて2枚取り出します。  
1枚目を十の位、2枚目を一の位として、  
2けたの整数をつくるとき、この整数が  
3の倍数となる確率を求めなさい。



15 4  500円、100円、50円、10円の硬貨が1枚ずつ  
あります。この4枚を同時に投げるとき、  
次の問いに答えなさい。

- (1) 表裏の出かたは、全部で何通りありますか。
- (2) 4枚のうち、少なくとも1枚は表となる  
確率を求めなさい。
- (3) 表が出た硬貨の合計金額が、550円以上になる  
確率を求めなさい。



25 5  赤玉2個と白玉3個がはいつている袋ふくろがあります。  
この袋から玉を1個取り出して色を調べ、それを  
袋にもどしてから、また、玉を1個取り出すとき、  
次の(ア)と(イ)では、どちらの方が起こりやすいと  
いえますか。

- (ア) 赤玉と白玉が出る
- (イ) 同じ色の玉が出る

